

平成29年度「提案公募型事業」申請書類(2)
< 受託申請書 >

ふりがな 団体名	あちこちアトリエ						
ふりがな 代表者名	みちもと ゆか 道本 有香						
募集期間 (該当を○で囲む)	第1期 / 第②期						
事業の分野・テーマ (該当に●印・複数可)	<input type="radio"/>	【○】心地よく安心な港まちで暮らす					公募要領の 「2委託対象 事業」を参照
	<input type="radio"/>	【△】魅力的でにぎやかな港まちに集う					
	<input type="checkbox"/>	【□】みんなと港まちを創る					
提案事業名	移動式アトリエ「あちこちアトリエ」						
希望金額=A ※5ページ・6ページ のAと同額を記入	1	3	9	8	0	0	円
期間 (準備～事業終了日)	平成29年9月10日～平成29年11月19日						

【提案事業の計画】 ※ 簡潔かつ具体的に記入してください。

(1) 事業の目的・見込まれる成果

上記で選択した事業の分野・テーマ(○・△・□)について、具体的にどのような目的を持ち、どのような成果を見込む事業であるか、詳細に記入。

「年齢にかかわらず誰でも創作ができる場を作りたい」という思いから、画材を持ち運び、まちの中のあちこちに創作の場(アトリエ)を開く事業である。創作の楽しさや面白さを感じたり、参加者や近隣の住民の方々の交流の場にする事で、港まちのにぎわいの創出へ繋がると考える。

また、公園や公民館といった開かれた場所で行うことで、アートに苦手意識がある・またはアートに興味がないという方が、「少しやってみようかな」という気持ちが芽生えたときに、すぐにその場で体験できるということもあり、アート好きな人だけではなく幅広い方々がアートを楽しめる。

いつもと変わらないまちの中に、豊かな創造性・人間性が混じって作り出されてゆく場を作り出したと考えている。

(2) 事業の概要

誰でも自由に創作できる場「移動式アトリエ『あちこちアトリエ』」を港まちの中で開くことで、地域の子どもからお年寄りまで年齢問わず様々な人々がアートに触れる機会を作る。

(3) 事業の具体的な内容と方法〔内容、実施日・実施場所、想定参加者等〕

1. 内容

移動式アトリエ「あちこちアトリエ」

・西築地学区内の様々な場所へ画材や道具を持ち運び、自由に創作できる場を開く。参加者層は子どもから大人まで年齢問わず、地域の方々を対象に、誰もが気軽に創作に触れる機会を作る。また参加者同士や近隣の住民の方の交流の場としても発展させていきたい。

・今回は本団体の活動を港まちの方々に知ってもらうことをねらいとする。また、今後活動していくにあたってどのように展開して行けば良いかの情報収集も積極的に行っていきたい。

2. 実施日・実施場所(屋外で実施する場合は、雨天時の対応も記入してください。)

実施日:9月24日、10月8日・22日、11月5日・19日(日)の全5回
11:00~17:00(入退場自由)

実施場所(検討中):港橋広場公園、浜町公園、西築地コミュニティーセンター、空き店舗など
※雨天時は別日を設ける。

3. 想定参加者人数・参加者層

参加人数:約75名

1回あたり15名程度

基本的には事前申し込み制(人数把握のため)だが、当日参加も受け付ける。

参加者層:子どもから大人、お年寄りまで、年齢問わず興味を持った方。

(4) 広報手段

- ・地域周辺の学校や公共施設にチラシを置かせてもらう。
- ・Facebook、Instagram等での告知など。

(5) 事業のスケジュール(準備～実施～実施後の実施運営スケジュール)

9月初旬 場所探し・チラシ作成などの事前準備
9月中旬 チラシ配布・参加者募集開始

9月24日、10月8日・22日、11月5日・19日
隔週の日曜日に開催(全5回)

(6) 事業の運営体制(スタッフの役割・人数や委託外注の活用等による運営体制、地域との連携など)

代表:道本有香
会計:伊東良介
事前準備・買出し等を中心になって担当

当日はローテーションで担当を回しながら、2～3名ほどスタッフをおく。

【事業のアピール】

次の各項目は審査基準と同じで、審査の判断材料となります。事業のアピールポイントを具体的に箇条書きで記入して下さい。(公募要領の12の審査基準の欄を参照してご記入ください。)

(1) 実現可能性

- ・実際に公園での実施経験があり、これまでの経験や反省を活かした活動ができる。
- ・公園やコミュニティーセンターなど、地域に開かれた場所で行うことで、地域住民が参加しやすい。

(2) 積算の妥当性

- ・すでにある道具や、再利用できる素材などを確認し、出来るだけ予算を抑えられるよう努めた。

(3) 公益性・社会貢献性

- ・本事業では上手に描く・作るのではなく、創作する行為そのものを楽しめることを重要視している。自由に楽しめるような題材・素材を準備し、アートを身近に感じることができる機会にしたい。
- ・本事業を通して、言葉と同じように、自分を想いや感情を表現する方法の一つとしての美術もあるということを伝えることで、心の豊かにし、心地よく暮らして行けるようにつなげていきたい。

(4) テーマとの整合性

- ・移動式アトリエを通して、様々な人々の交流の和が広がっていくことで、港まち全体のにぎわいにつながっていく。
- ・参加者一人一人の心が少しでも豊かになれば、その和が広がって港まち全体が心地よいまちになっていく。

(5) 将来性

- ・のびのびと創作を楽しんでもらい、創造性を伸ばしていきたい。また、最近は絵を描いたり粘土に触れる機会もなかったという大人の方や、「アートは難しい」と苦手意識がある方にも気軽に体験してもらい、創作の楽しさや面白さ・懐かしさを体感することで、アートに興味を持つきっかけにもなる。
- ・今回の開催を通して、この活動を知ってもらうとともに、今後様々な場所でも展開できるようにつなげていきたい。

(1) 支出の部

項目	金額(円)						
①外部講師謝金							円
②旅費交通費			1	5	0	0	0 円
③会議費							円
④物品購入費			5	0	0	0	0 円
⑤借上料				9	0	0	0 円
⑥保険料			1	1	8	0	0 円
⑦人件費			4	5	0	0	0 円
⑧委託外注費							円
⑨通信費							円
⑩印刷製本費				6	0	0	0 円
⑪事務費等				3	0	0	0 円
総支出合計=A (港まちづくり協議会からの委託契約金額合計) (1ページのAと同額かご確認ください)			1	3	9	8	0 0 円

※ 参加費を徴収する事業の方は、参加費で充当される予定の品目は入れないでください。

※ 参加費で充当される予定の品目は、(様式1)の【徴収される参加費に相当する事業費】に計上してください。

(2) 対象経費明細 ※対象経費明細のエクセル形式(様式2)の使用も可能です。

項目	経費の内訳 人数、単価、数量、回数等の明細を具体的に記入してください。
① 外部講師謝金	
円	
② 旅費交通費	スタッフ交通費(1000円×3名×5回) 15000円
: 1 5 0 0 0 0 円	
③ 会議費	
円	
④ 物品購入費	画材・素材(絵の具・クレヨン・ロール紙・紙・筆・蜜ろう粘土・糸 など) 道具(ハサミ・敷物・クリップ など)
5 0 0 0 0 0 円	
⑤ 借上料	西築地コミュニティセンターを借りると想定し(確認中)、 それと同等の金額で、空き店舗二つ分を計上
9 0 0 0 0 円	
⑥ 保険料	ボランティア活動保険: 350×5 1750円 ボランティア行事保険: 134×75 10050円
1 1 8 0 0 0 円	
⑦ 人件費	1回3000円×3名×5日間 45000円
4 5 0 0 0 0 円	
⑧ 委託外注費	
円	
⑨ 通信費	
円	
⑩ 印刷製本費	チラシ印刷(1000枚) 6000円
6 0 0 0 0 円	
⑪ 事務費等	文具(紙代・封筒代・のり・ボールペンなど)
3 0 0 0 0 円	
総支出合計=A	1ページ・5ページのAと同額かご確認ください
1 3 9 8 0 0 円	